

地域と行政相談の懸け橋 「人をつなぐコミュニティFM」

せんだい泉エフエム放送株式会社（fmいずみ）
営業企画

堀籠 和幸



皆さま、初めまして。宮城県仙台市泉区を放送エリアとして活動するコミュニティFM「fmいずみ」（せんだい泉エフエム放送株式会社）で営業を担当しています。堀籠和幸です。

このたびは、弊社で長年行ってきた行政相談制度及び行政相談委員制度の広報活動を評価していただき、令和4年度全国行政相談委員連合協議会会長感謝状を贈呈いただけたこと、真に光栄に存じます。

「fmいずみ」は、2000年3月に開局し、今年で開局22年を

迎えた地域密着のメディア「コミュニティFM」です。放送エリアの仙台市泉区は自然に恵まれ、過ごしやすい生活環境で住宅地として人気があります。演奏所（スタジオ）が、地下鉄泉中央駅ビルの3階にあり、ビルでお食事やお買い物した方が、スタジオ前で番組を直接見学できる、番組ゲストも移動がしやすくリスナーやファンとの距離が近く感じられる、と好評をいただいております。

「fmいずみ」がある仙台市泉区は、仙台市の北部にあり、昭和63年3月1日に泉市が仙台市と合



fmいずみ入口(放送スタジオ)

併し、平成元年4月1日に仙台市が政令指定都市に移行したことに伴い、新たに「泉区」として誕生

しました。宮城県の県庁所在地「仙台市」のベッドタウンとして、泉区では大規模な宅地開発が進み、新興住宅地として発展しました。一方、昔の城跡や遺跡、千年以上もの歴史を誇る神社やお寺、伝統芸能が伝承されるなど、歴史を感じる顔も持つ行政区です。シヨツピングセンターやアウトレット、ドーム型のスポーツ施設など、娯楽やスポーツ面でも充実した開発が行われています。一方、自然にも恵まれています。泉区の象徴である「泉ヶ岳」は標高1,175mで、登山やトレイルランニングなど地元市民だけでなく、全国から利用者が訪れております。この「泉ヶ岳」にはスキー場が2つもあり、平日でも仕事帰りにナイター利用ができる利便さで人気があります。春は花見、夏は登山やキャンプ、秋には紅葉、仙台名物「芋煮」など冬だけでなく、1年を通して楽しめます。「fmいずみ」の近くには、あの羽生結弦さんが学んだ学校や練習で利用したスケートリンクもあります。

コミュニケーションFMは、現在全国

に300局以上設立され、それぞれの地域に密着した放送を行っています。阪神淡路大震災以降、災害時の有効性が認められ、全国で開局の動きが広まってきました。東北に大きな被害をもたらした東日本大震災でも震災後多くの臨時災害放送局が運用され、地域の方々に必要な情報を発信し、支援情報だけでなく、生活再建への支援情報を発信し活躍しました。東日本大震災時の体験は、私自身も地域密着型のメディアとしての存在意義を改めて実感することができました。

また、弊社では放送事業だけでなく、イベント事業も手掛けています。10万人以上の人が集まる夏祭りや数百のお店が参加するマルシェなど、行政や地元商工会、町内会や学校などイベントを通して地域のみなさんと一緒にひとつの事業をやることで、地域の方との絆をより強くすることに大きく役立つています。イベント事業を行うことにより、経営の安定とともに地域振興、信頼向上、放送事業

への協力が得られやすいなど、弊社だけでの利益ではなく、地域とWin-Winの関係を築き、地元泉区発展への貢献ができることが仕事の誇りともなっています。

「fmいずみ」では、平日の午前と午後に地域情報を紹介する生放送番組を放送しています。番組名は午前が「be Alive(ブイアラ イブ)」、午後は「DailyCafe(デイリーカフェ)」です。午前の番組は、仙台市内の他のコミュニケーションFMにもネットして放送しています。仙台市内はメディアの数も多いのですが、それぞれ協力し合い、地域への貢献ができていくことが素晴らしいことだと思います。

弊社ではラジオの生放送番組を活用して、今回感謝状をいただきました行政相談制度を紹介させていただいております。

一つ目は、東北管区行政評価局が開設している「行政困りごと相談所」(仙台総合行政相談所)の予定を毎週紹介しています。翌週以降の予定を1週間単位でFAXでお送りいただき、そのスケジュールを番組パーソナリティが紹介さ

せていただいております。この「行政困りごと相談所」では、市(区)役所で行政相談委員の方が定期的に開設する相談所とは異なり、青葉区にある地元有名百貨店内に設けられた相談窓口で、毎日違った内容で専門家による行政相談が行われています。ラジオで毎週お知らせすること、「行政相談」という言葉に親近感をもっていただき、「行政相談」への理解を深めて、より多くの方に利用いただけるように番組でも紹介させていただいております。東北管区行政評価局作成のチラシもスタジオ前に置かせていただき、スタジオ前に来られた方にもすぐ認知いただけるようにしています。

二つ目は、毎年『行政相談週間』の直前に、東北行政評価局期待の新規採用職員の方に生放送番組に出演いただき、「行政相談週間」や「行政相談パネル展」について、番組パーソナリティとの掛け合いで紹介いただいております。初々しい新人の方が一生懸命お話す姿が、とても好感が持てる内容で毎回好評です。出演いただく方も

ラジオを通して人に説明することで、「行政相談」という仕事について考えるいい機会になっている、と東北管区行政評価局の担当の方からお言葉をいただいております。ラジオ出演がお仕事にも役立つという言葉は、我々も大変励みになりました。

三つ目は、「東北コミュニティ放送協議会」加盟局で放送させていいただいているラジオCMです。「行政相談」という制度を東北のコミュニティFMで応援しようと各局で放送させていただいております。東北各地の行政相談委員のみなさまの活動を知っていただく



行政相談の放送のスタジオ風景

ことで「行政相談制度」をもっと活用できるようにラジオCMを通して応援させていただきたいと思っております。

「行政相談パネル展示」も拝見させていただきましたが、本当に行政相談委員のみなさまが携わる相談は多岐にわたり、ご苦労も多いかと思います。相談を受けられる相談委員の皆さまには本当に頭が下がる思いです。

私どもがお手伝いさせていただいている広報活動が少しでも行政相談委員のみなさまの活動の応援になることを願っております。

コロナ禍も少し落ち着いてくれば、相談も増えてくることが予想されます。今年も暑い日が続きそうですねので、お体を大切にしていただきながら、元気に「行政相談」に取り組んでいただければと思います。

よりよい暮らしのために、行政相談制度及び行政相談委員制度がさらに充実して、国民から愛されるように、今後のみなさまのご健闘、ご活躍を祈念し、ご挨拶の文章を締めさせていただきます。